

平成 20 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 亀望会

はじめに

当法人は10年目を迎え、地域における福祉サービスの中心的な担い手として安定した経営と、良質なサービスの提供に努めました。特に、質の高い職員を育てることと、離職率が高いといわれている福祉職員の定着を図るため、経営コンサルタントと協働し、現行の人事考課制度を見直すとともに、教育体制の基盤をつくり、研修体系の充実に力を入れました。あわせて、運営理念を意識し、法人の方向性を示すことにより、職員のモチベーションを上げることができたように思います。また、前年度に引き続き地球環境（エコロジー）に配慮した取り組みを、職員一人ひとりに意識づけ、光熱水費などの経費節減に努力しました。

しかし、地域住民のニーズに応えるべき新事業については、20年度中に開業には至りませんでした。

また、10周年にあたり、来賓、役員、関係者を招待し、職員ともに10月にロイヤルホテルにて記念祝賀会を開催しました。

1．特別養護老人ホーム事業

利用者の個別のケアプランの作成により一人ひとりの求めるサービスの提供に努め、ケアプランの実施にあたりご家族にも説明をしていくことができました。

また、看取りについても昨年度と同様に管理医師の協力のもと介護職員、看護職員の連携により9名の利用者の最期を施設で看取ることができ、施設として大きな自信となりました。

さらに、入退所については、入院者が少なかったことやスムーズな入所を行えたことにより今年度目標稼働率97%を上回ることができました。

平成20年度退所者23名（内死亡18名、長期入院4名、他施設転出1名）

(1) 生活相談

入所に際しては、介護保険制度及び契約内容を十分に理解していただくために、入所者及び家族の方々との話し合いを行い、日常生活及び家族関係等についての相談も行いました。また、昨年度に引き続き家族懇談会を開催し、サービスの向上を図るとともに、家族の方とのコミュニケーションの強化に努めました。

(2) 身辺介護

入浴、排泄

個々の状態に合った入浴方法でゆったりと入っていただき、顔見知りの職員の入浴介助により安全に安心して入浴してもらうことができました。

排泄介助についても自立を促すための努力をしましたが、おむつ使用を減らす取り組みは課題として残りました。

食事

ア 給食会議の定期的な開催により入所者の嗜好調査に基づき、楽しい雰囲気の中でおいしく食事ができるように配慮し、選択メニュー、鍋料理等季節感のある食事の提供に努めました。中でも毎月の駅弁、焼きたてパンなどは楽しみにされていました。

イ 食事量の極端に少ない方には、独自の介護食、捕食等の検討を行い提供に努めるとともに、誤嚥の防止に努めました。昨年度に引き続き特にソフト食の取り組みは、誤嚥しやすい方にとって食事の質の向上につながりました。水分補給については、形態も含め検討し、積極的に摂取してもらい脱水防止に努め、あわせて水分量を細かくチェックするようにしました。

ウ 個別の栄養ケアプランを作成し、一人ひとりの栄養状態等を細かく把

握し栄養ケアマネジメントをしました。

エ 引き続き 家庭的な雰囲気味わっていただくため、小人数ずつ夕食にお好み焼き、鍋料理はとても喜んでいただきました。

健康管理

ア 日常の健康管理に努めるとともに、伝染性疾患の予防のため、インフルエンザの予防接種、レントゲン検診等定期的に健康診断を行いました。

イ 入所者の医療依存度が高くなる中で看護職員のフロア担当制を実施し、介護職員との連携を今まで以上に密にしました。

また、専門的な研修会を増やすことにより職員の観察力を高め、入院者を出さないよう努めました。さらに、冬場の健康維持のため、湿度の確保に努め、熱発者を減らす努力もしました。

ウ 管理医師と密に連絡をとりながら、入院については多根病院の協力を得、不安のない生活をしていただけるよう努めました。

エ 管理医師とともにご家族と十分話し合いをもち、看取りを希望された方にはできるだけ対応するよう努力しました。

オ 歯科診療については、中島先生に往診治療を行っていただきました。

機能訓練指導

利用者のADL向上と、その人らしい生活が送れるよう、管理医師、理学療法士の協力を得、個別のプランに基づき機能訓練指導員を中心に看護職員、介護職員が訓練を行いました。

日常生活の中で目的をもった離床を行い、朝の体操、レクリエーション等、楽しみながらの機能回復にも努めました。

教養娯楽

施設生活を潤いのある生活にするため各種の行事を実施しました。

個人の希望を尊重し、少人数での外出を積極的に行うとともに、ご家族にも呼びかけ楽しいひとときを過していただきました。

また、各フロアごとの行事も楽しんでいただきました。

地域交流について

地域ボランティア団体、小中学校、保育園等の見学、交流を行ないました。

また、高台・広教・九条南の各連合の盆踊りに入所者とともに参加し地域の方たちに交じって楽しんでいただきました。

2. 居宅サービス事業

居宅サービス全般においては、大きな事故等もなく、地域の方々のニーズに応じ、より質の高いサービスを提供していく「在宅支援」の取り組みにより利用者に安心して利用して頂けるサービス提供ができました。

(1) 短期入所生活介護(ショートステイ)

周辺施設と競合するなか、入院の空きベッドも活用し、緊急時にも柔軟な対応(送迎を含む)で、昨年度より年間利用人数が上回りました。

また、個別のケアプランの策定により細やかなサービスを提供するよう努めました。さらに、できるだけ顔なじみの介護により利用者に安心感を与え、リピーターを増やす努力をしました。

機能訓練については、希望の方にプランを作成し実施しました。

(2) 通所介護(高齢者デイサービス)

西区唯一の通所介護365日営業も4年目を迎え、利用者・ケアマネージャーを含め地域に認知されてきています。また、平日・土日問わずほぼ定員に達しており、前年度の実績を上回る要因となりました。

職員が利用者と共に様々な活動をすることで、利用者との距離が近くなり、利用者を深く理解することができたことで信頼性の向上につながっています。さらに、利用者の様子観察をきめ細かに行き、異常を早期に発見し家族や関係機関と調整し病気等の早期発見と対応につなげることができたため、入院者および利用中止者が少なくなったことも売り上げ増に寄与していました。

今年度は、恒例のお好み外出、お出かけランチ、パフォーマンスボランティアに加え、個々に合わせた学習療法や回想法にも取り組み、認知症予防にもつながりました。

また、8月に行った顧客満足度調査では、前回と比較して利用者からのコメント(生の声)を多く拾うことができ、具体的な対応・改善に効果を表すことができました。

次年度は、引き続き満足度調査を行い利用者、家族および地域のニーズを把握に努め、安心して利用できる施設環境づくりを展開していきます。また、家族を含めた関連機関との連携や自立支援に向けた取り組みを強化することにより、各々の利用者の生活の質を維持していけるよう在宅生活を支援していきます。

(3) 在宅介護支援センター

西区包括支援センター総合相談窓口業務の委託を受け3年が経過しました。

ここ数年と同様に居宅介護支援事業への業務の比重が大きく、総合相談窓口業務の役割が十分に果たせなかったことに変化はないものの相談件数は昨年度に増して伸び続けており、地域の認知度も高くなりつつあります。その要因としては西区包括支援センターに寄せられた相談のうち、花乃井地域の相談については西区包括支援センターが当センターを紹介する体制を整えたことが大きいと思われました。

また、西区包括支援センターや地域各種関係者との連携および地域活動については上記の体制整備に加え、前年度と同様に対象地域における介護予防教室(認知症予防について)を開催、さらに、大阪市委託事業である家族介護者教室も開催し、地域住民の方々との交流の機会を数多く設けることができました。次年度もこのような機会をより多く設け、継続して取り組みます。

また、次年度から導入される評価基準を確実に満たすよう努力し、委託料の確保及び専門機関としての質の向上を図ります。

一方、居宅介護支援事業としては、介護予防の導入に伴い、要介護から要支援へ更新される利用者が多いことと軽度者の比重が多いという大阪市の特徴があるにも関わらず、年度後半には90件以上の要介護ケースを確保できた事は大いに評価できる内容でした。

次年度も引き続き90件の要介護ケースを維持することはもちろんの事、特定事業所加算の算定に見合った事業所の運営、介護支援専門員の質の向上に向けて努力していきます。

(4) 訪問介護(ホームヘルプサービス)

事業の採算面においては、時給制のヘルパーを中心とした職員数の配置に努め固定経費を減らした結果、赤字を最小限に減らすことができました。

しかしながら、新規利用者数の伸び悩み、総派遣時間数及び派遣単価が伸びませんでした。この件については次年度の課題となりました。

また、ヘルパー研修会とケース会議の定期的な開催により、質の高いサービスを展開できました。

3. 診療所事業

前年度に引き続き特養入所者、ケアハウス入所者および職員の健康管理に努めました。又、前年同様にインフルエンザ予防接種を積極的に行い、特に感染症対策に努めました。

4. ケアハウス コスモスガーデン

開設8年目を迎え、平均年齢は82.1歳（開設当初75.6歳）となり、加齢による機能低下や意欲低下などから日中の多くを施設内で過ごす方が増えています。そこで、平成20年度は「充実した暮らしの提供」を年度目標として、入居者にとって1日1日が明るく充実した日々となるよう積極的に取り組みました。

【サービス関係】

介護予防の充実

健康で自立した生活を継続するための残存機能、介護予防を目的とした健康体操等リハビリ用具を活用してさらに充実させ、活動範囲の拡大や意欲の増進を図りました。

入浴を楽しく

毎月26日の「風呂の日」に様々な変わり風呂（菖蒲、ゆず、檜等）入浴を楽しむ機会を増やしました。

食事を楽しく

食生活における満足度の向上をめざし、メニューの新規開発や食を楽しむ取り組み（にぎり寿司やステーキ、お好み焼き等の鉄板焼きの実演等）を積極的に取り入れ、より高い満足度を得ることができました。

生活アンケートの継続実施

昨年度から実施している生活アンケートを活用し、より満足度の高いサービスが提供できるようアンケート調査を実施し、各サービスの見直しを行いました。

地域交流の推進

大阪市中央図書館より月一回移動図書館を派遣していただき、入居者や地域の方々の読書意欲の向上と地域開放に資することができました。また、施設行事や健康体操、クラブ活動（書道）作品展示会等機会ある毎に地域に呼びかけ、積極的に地域交流に務めました。

防災対策の充実

今後予想される災害に備え、備蓄食糧の増量、その他必要器材の購入、さらに入居者への啓発等行い、防災対策の充実に努めました。

安心して暮らすために

きっこう会、亀望会各事業所をはじめ、関係機関との連携や、各種制度の最新情報の提供や、安心して暮らせるための総合的な相談支援に鋭意取り組みました。

【運営関係】

第三者評価事業受診準備の実施

客観的な評価指標である第三者受診の前段階である自己評価を実施し、課題の整

理や受診の準備を行いました。

特定施設指定の検討

平成20年度に施行された軽費老人ホーム基準省令にあわせた人員基準・設備基準をもとに、特定施設指定化についての運営面等を中心に具体的な検討を行いました。

長期修繕計画の推進

建物や機械設備の老朽化による故障修繕に対応するため、長期の計画的な資金積み立てと整備の実施に取り組みました。

〔資料編〕

1. 特別養護老人ホーム事業

入所者利用状況(H20.4.1～H21.3.31)

ア. 平均年齢 全体 男女別 (H21.3.31現在)

男性	18名・84.5歳	女性	85名・87.7歳	男女平均年齢	103名・87.2歳
----	-----------	----	-----------	--------	------------

イ. 日常生活動作調査(対象者103名) (H21.3.31現在)

区分	移動			食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
実数(名)	10	32	61	29	37	37	13	27	63	1	26	76	11	19	73

区分	整容			意志疎通			寝返り			車椅子使用			認知症老人数
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	
実数(名)	11	33	59	13	42	48	13	37	53	6	24	58	93

主な行事および活動

ア. 行事

日付	行事名	備考
平成20年 4月14日	造幣局(観桜会)	造幣局の桜を觀賞し、花を楽しむのと同時に季節を感じて頂く。入所者10名参加
5月8日～	うつぼ公園ばら園	地域で有名なうつぼ公園のバラを觀賞しつつ、外で食事を楽しみながら身も心もリフレッシュしていただく。入所者33名参加。
6月12日・13日 23日	ぼんぼこ亭(外食行事)	レストランでいつもとちがう雰囲気です。食事を召し上がって頂きます。参加者9名
6月19日	鉄板まつり	楽しい模擬店の雰囲気なかで、たこ焼き・焼きそばをおやつとして提供。
7月3日・9日 11日	海遊館・食いしん坊横丁外出	御家族様と海遊館見学を楽しんで頂き、食いしん坊横丁で好きなメニューを選んで頂く。参加者9名

7月11日・13日 23日	すいか割り	夏の風物詩「すいか割り」を皆様に楽しんでいただく。
8月5日～7日	野球観戦	大阪ドームで野球を楽しんで頂く。 入所者3名参加
8月25日	夏祭り	模擬店、盆踊り、カラオケ等入所者・家族・地域の人々・理事・評議員を招待し、ボランティア、地元女性会の協力を得て、楽しんでいただく。
9月5日・10日	花火	夏の風物詩として、入居者の方に花火を楽しんでいただく。
9月17日	敬老祝賀会 藤かほり様歌謡ショー	特養とショートステイで45名の入居者、デイサービス30名の利用者が参加し、行われた。
10月10日・17日	動物園とつぼらや	食事を楽しんだ後、動物園でゆっくり過ごされる。 入所者10名参加
10月25日～ 11月7日	合同展示会	西区の事業所が一体となり日頃の作品展示会を行った。
11月17日～19日	秋の味覚祭り	食欲の秋、深まる秋の味覚を、石焼いもで、五感に感じていただく。
11月26日・28日	ロイヤルホスト	外食を楽しんで頂くのと同時に好きなメニューを選ぶ事も楽しみの一つとしています。
12月17日・18日 22日	クリスマス	各フロアでクリスマスソングや料理、ケーキなど楽しんで頂く
12月25日	保育園児との交流会	6階 韮幼稚園園児20名
12月26日	もちつき大会	昔ながらのおもちつきを楽しんでいただき、つきたてのお餅を召し上がっていただく。
平成20年 1月1日	新年祝賀会	おせち料理と施設長挨拶。 お屠蘇で祝う(1・2日)
1月5日・8日 9日	初詣	茨住吉神社に初詣。 入所者10名参加
2月3日	節分	入所者が赤鬼にカラーボールをぶつけ、節分の雰囲気を楽しんでいただく。
2月23日・26日	なにわ繁盛亭	なにわ繁盛亭で落語を楽しんで頂く。 入所者3名参加
3月6日・16日	海遊館	海遊館でジンベイザメやペンギンなど楽しんで頂き、マーケットプレスで食事をして頂く。 入所者9名参加。
3月12日	保育園児との交流会	3階 西六保育所保育園児27名参加

その他の食事関係の行事

- ・11月・12月・1月・2月に鍋料理
- ・毎月2回以上の行事食提供
- ・毎月第1火曜日に誕生日会
- ・入所者全員に少人数で年1回お好み焼きと年1回冷やしそうめん提供

イ．ホーム喫茶

管理栄養士が中心となり、毎週水曜日(理髪日、行事のある日は除く)に、1階喫茶コーナーにてオープンし、毎回30～40名程の方が楽しみに利用される。チケット制にし、飲み物、お菓子(和菓子・ケーキなど)を用意し、50円で提供している。
ボランティアの伊野隆子様・松本良子様には昨年に引き続き毎回協力いただいている。

ウ．面会・外出・外泊状況集計表(H20.4.1～H21.3.31)

月平均面会回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
8名	13名	18名	12名	10名	13名	29名

外出回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
3名	2名	3名	4名	8名	7名	76名

外泊回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
1名	1名	0名	1名	2名	4名	94名

エ．自衛消防訓練等実施状況

年月日	内容	備考
平成20年 6月23日	自衛消防訓練(4F介護職員室前) 夜間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成20年11月25日	自衛消防訓練(4F介護職員室前) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練

2．居宅サービス事業

ショートステイ事業

・実施状況 (H20.4.1～H21.3.31)

	開設 日数	実利用 人数	延利用 人数	送迎	1日 平均	平均 介護度
年間合計	365	710	5154	1982	14.1	3.26
月平均	30.4	59.1	429.5	165.1	-	-

高齢者デイサービス

ア．利用者状況(H20.4.1～H21.3.31)

	開設日数	実利用人数	延利用人数	送迎	入浴	給食
年間合計	365	1,265	9,224	16,418	6,918	9,075
月平均	30.4	105.4	768.6	1,368.1	576.5	756.2

イ．利用者数推移表(H20.4.1～H21.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末利用者数	104	106	110	111	106	107	110	107	100	100	101	103

ウ．利用者の状況 (H21.3.31現在)

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子供(家族) と同居	その他	合計
合計	43	15	45	0	103

エ．主な行事

- ・お花見(土佐稲荷神社): 3月24日(月)～4月6日(日)
- ・お好み外出(魚河岸たちばな): 5月12日(月)～18日(日)
- ・お好み外出(鞆公園): 5月26日(月)～6月1日(木)

- ・外出ランチ（江戸堀やまぐち）：6月9日(月)～14日(土)
- ・お好み外出（ジャスコ）：6月24日(月)～28日(金)
- ・七夕週間：7月7日(月)～13日(日)
- ・外出ランチ（魚河岸たちばな）：6月30日(月)～7月6日(日)
- ・お好み外出（造幣局）：7月22日(月)～28日(日)
- ・夏祭り週間：8月4日(月)～10日(日)
- ・敬老週間：9月15日(月)～21日(日)
- ・外出ランチ（江戸堀やまぐち）：9月8日(月)～13日(土)
- ・お好み外出（科学技術館）：9月25日(木)、27日(土)、10月1日(水)
- ・鶴橋風月（お好み焼き）：10月15日
- ・外出ランチ（魚河岸たちばな）：10月14日(火)～19日(金)
- ・運動会：10月13日(月)～19日(日)
- ・お好み外出（韮公園）：10月20日(月)～26日(日)
- ・外出ランチ（魚河岸たちばな）：11月24日(月)～30日(日)
- ・味覚祭り：11月28日
- ・お好み外出（造幣局）：11月27日(月)
- ・年忘れ演芸会：12月22日(月)～28日(日)
- ・クリスマスランチ：12月24日(水)
- ・初詣（茨住吉神社）：1月1日(木)～14日(水)
- ・節分：2月2日(月)～2月8日(日)
- ・梅見（西九条公園）：2月23日(月)～3月1日(日)

オ．誕生日会

- ・毎月開催（デイサービスで生活する様子の写真をアルバムに入れてプレゼントする。）

カ．クラブ活動

- ・毎月第3週に計算・算盤、書き方、手話、運動、娯楽の各クラブ活動を実施

在宅介護支援センター(居宅介護支援事業含)

(1)在宅介護支援センター事業

ア．相談事業実施状況(H20.4.1～H21.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
相談延件数	25	21	18	25	19	22	21	20	21	23	19	18	252	21.0

イ．相談内容(H20.4.1～H21.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
経済・生活問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護サービス	6	7	4	2	4	4	6	1	4	7	6	3	54	9.0
介護予防サービス	6	0	1	6	0	6	2	5	4	1	1	0	32	2.6
介護予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
福祉サービス	6	14	13	17	15	12	13	13	12	15	12	15	157	13
保健医療サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
生きがいづくり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	7	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	11	0.9
合計	25	21	18	25	19	22	21	20	21	23	19	18	252	21.0

(2) 居宅介護支援事業

ケアプラン作成状況(H20.4.1～H21.3.31)

	作成 件数	平均 介護度	要支援 1・2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
年間合計	1,274	1.99	227	234	432	172	127	82
月平均	106.1	1.99	18.9	19.5	36.0	14.3	10.5	6.8

訪問介護（ホームヘルプサービス）

ア．利用者状況(H20.4.1～H21.3.31)

	実利用人数	生活援助	身体介護	派遣時間計
年間合計	452.0	3312.5	674.0	3986.5
月平均	37.6	276.0	56.1	332.2

イ．平均年齢 全体 男女別（H21.3.31現在）

男性	5名・79.4歳	女性	30名・84.7歳	男女平均年齢	35名・84.0歳
----	----------	----	-----------	--------	-----------

ウ．利用者の状況（H21.3.31現在）

	一人暮らし 世帯	夫婦のみ 世帯	子供家族 と同居	未婚の子供 と同居	その他	合計
合計	26	5	2	2	0	35

3．診療所事業

ア．診療報酬請求件数(H20.4.1～H21.3.31)

	入所者	職員	その他	合計
年間合計	1240名	65名	1名	1306名
月平均	103.3	5.4	0.1	108.8

イ．健康診断実施状況(H20.4.1～H21.3.31)

	入所者	職員	ケアハウス	合計
年間合計	220名	151名	30名	401名
月平均	18.3	12.6	2.5	33.4

ウ．インフルエンザ予防接種実施状況(H20.4.1～H21.3.31)

入所者	101名	職員	132名	ケアハウス	28名	職員家族	49名	合計	310名
-----	------	----	------	-------	-----	------	-----	----	------

4．ケアハウス コスモスガーデン

ア．入居者の状況（H21.3.31現在）

・平均年齢

全体	83.8歳	男性（7名）	84.6歳	女性（33名）	83.6
----	-------	--------	-------	---------	------

イ. 日常生活動作調査（対象者40名）

区分	移動		食事			排泄			入浴		
	自立歩行	補助具使用	自立	一部介助	全部介助	普通	やや不自由	不自由	自立	一部介助	全部介助
実数(名)	33	7	40	0	0	39	0	1	36	3	1

* 補助具使用者とは、歩行時に歩行器・杖を使用している者

ウ. 面会・来客・外泊状況集計表（H20.4.1～H21.3.31）

・年間面会・来客回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
14名	3名	6名	7名	10名

・外泊回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
1名	2名	3名	15名	19名

エ. 主な行事

- ・4月 お花見 創立記念行事 行楽弁当
- ・5月 端午の節句 菖蒲湯 行事食 ステーキランチ
- ・6月 お茶会 バイキングパーティ
- ・7月 七夕 行事食 外出ランチ
- ・8月 納涼祭
- ・9月 長寿お祝い会 自衛消防訓練 結核健診 鶴橋風月
- ・10月 入居者健康診断 お月見 外出ランチ 行楽弁当
おでんバイキング
- ・11月 作品展とお茶会 寿司ランチ インフルエンザ予防接種
- ・12月 人権研修 クリスマスパーティ 餅つき
- ・1月 新年御礼会 七草粥 ぜんざいパーティー 鏡開き 小正月
- ・2月 節分 寿司ランチ
- ・3月 ひな祭り 自衛消防訓練 ステーキランチ

オ. その他

- ・誕生日会 健康相談会 介護予防教室 和みカフェ（年二回お茶会）
移動図書館 : 月1回
- ・行事食（セレクトメニュー、バイキング料理含む） 映画会
- ・焼きたてパン 鍋料理（冬期） : 月2回
- ・活動クラブ 書道、手芸、カラオケ、麻雀

5. その他

(1) 研修状況

・施設内研修（基礎研修）

日付	研修名	研修内容	参加者
平成20年 4月18日	福祉施設職員の心得	老人福祉施設に勤める者として、基本的な姿勢等について	施設長以下計64名
5月16日	ヒヤリハット、事故削減対策について	事故を把握するための事故報告の必要性について	施設長以下計67名
6月27日	食中毒予防について	食中毒の原因となる細菌と予防について	施設長以下計49名
7月2日	救急救命法について	救命処置について、医師より具体的な方法を学ぶ。	施設長以下計49名
8月8日	社会貢献事業について	社会貢献事業の内容から社会福祉法人の役割について	施設長以下計47名
10月21日	インフルエンザと感染症について	インフルエンザの症状、特徴、予防等について	施設長以下計50名
11月21日	医療除外行為、服薬介助について	介護職員がしてはいけない医療行為や服薬介助の注意点について	施設長以下計52名
12月2日 - 14日	人権研修	ビデオ鑑賞～社会福祉施設における人権「私たちの声が聴こえますか」	施設長以下計61名
12月19日	生活リハビリについて	理学療法士より、リハビリについて、実演を含め、講義を受ける。	施設長以下計50名
平成21年 1月16日	非常災害の対応について	災害が起きた時の、当施設の対応について	施設長以下計39名
2月20日	認知症の対応について	さまざまな認知症の症例やその対応について	施設長以下計44名
3月27日	介護報酬改定について	4月から改定となる介護報酬の基本的な内容について説明をする。	施設長以下計51名

・施設内研修（専門職研修）

介護看護研修

日付	研修名	研修内容	参加者
平成20年 6月13日	ターミナルケアについて	高齢者の看取りケアについて	介護・看護職計31名
7月11日	高齢者のケアプランについて	高齢者のケアプランのたて方や課題について	介護・看護職計32名

9月12日	身体拘束排除について 施設職員の心のケアを考える。	身体拘束の内容や弊害について 施設職員のストレスとその対処法について	介護・看護職計34名
平成21年 2月13日	食事介助について	食事介助の具体的な方法について	施設長以下計27名
3月13日	介護記録の書き方について 事故防止について	介護記録の書き方と注意 点、事故防止の注意点について	施設長以下計23名

・ 施設内研修（階層別研修）

中堅職員研修

2班に分かれて、各4日間実施（うち、他部署1日研修1日含む）。17名が受講。

新人職員研修

主に4月入職の職員について、3月30日、31日の2日間で実施。入職前に、業務の内容について学ぶ。7名受講。

・ 施設外研修

施設外研修として、各種上部団体主催の研修会にできるかぎり参加。その結果、大阪府社会福祉協議会、大阪市健康福祉局など計83の研修に参加した。

(2) ボランティア・実習生受入、体験学習状況

・ ボランティア受入状況

特別養護老人ホーム

摘 要	人 数
ホーム喫茶(毎水曜日)	2名
民謡会	5名
夏祭り(模擬店・盆踊り・介助)	50名
おもちゃ作り	10名
うた・楽器演奏	2名
もちつき大会	7名

通所介護

摘 要	人 数
花見(土佐稲荷神社11日間)	のべ22名
お好み外出(ジャスコショッピング4日間)	のべ9名
お好み外出(造幣局)	のべ10名
夏祭り(盆踊り7日間)	のべ21名
コスモス苑夏祭り(付き添い)	11名
科学技術館(3日間)	のべ8名
お好み外出(鞆公園4日間)	のべ6名
初詣(茨住吉神社9日間)	のべ21名
演歌・舞踊(5回)	2名
楽器演奏(4回)	1名

話し相手・お手伝い(家裁紹介)	4名
ひとり語り(2回)	1名
うた楽バンド(歌謡・童謡)(6回)	2名
うた体操(15回)	2名
大阪市の歴史語り(11回)	2名
民謡(三味線・尺八)(6回)	1名
民謡(三味線・太鼓)(3回)	5名
民謡(三味線)(2回)	2名
沖縄民謡(三線)(2回)	8名
大道芸	2名
フラダンス	4名
腹話術(2回)	1名
叙情歌	8名
歌謡曲	8名
オカリナ	4名
手話・体操	5名

・実習生受入状況

学校等の名称	実人数	のべ人数	内容(資格等)
関西学院大学	2名	46名	社会福祉士
大阪人間科学大学	1名	12名	社会福祉士
関西社会福祉専門学校	11名	220名	介護福祉士
(社団)大阪市母と子の共励会	4名	12名	ホームヘルパー2級
大阪YMCA国際専門学校	3名	9名	ホームヘルパー2級
(有)クオリティピュアスクール	8名	19名	ホームヘルパー2級
(社団)大阪府看護協会	2名	2名	看護力再開発講習会
7機関	31名	320名	-

・体験学習

平成21年2月5日~6日 大阪市立西中学校2年生 4名

(3) 寄付金状況 (平成20年度分:日付順)

コスモス苑

年月日	団体名・氏名	関係	金額	備考
平成20年 8月20日	山本 壽一様	監事	10,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成20年 8月25日	緒方 正弘様	理事	30,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成20年 8月30日	大阪ﾌﾞﾗﾝﾀﾞｲﾝｸﾞｸﾗﾌﾞ 竹田 房子様	地域	10,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成20年 8月30日	ILH 161616振興町会様	地域	5,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成20年 8月30日	江戸堀連合振興町会様	地域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当

平成20年 8月30日	木村 和子様	評議員	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成20年 8月30日	原田 和子様	入所者 家族	100,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成20年 8月30日	広教地域ネットワーク推進員 中島 恵子様	地 域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成20年 8月30日	山下 ツキ子様	評議員	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成20年 8月30日	広教連合振興町会様	地 域	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成20年 8月30日	西区老人クラブ連合会 檉原様	地 域	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成20年 8月30日	平川 信幸様	地 域	10,000	特養夏祭りに祝金 夏祭り経費に充当
平成20年10月 3日	山脇 浩子様	評議員	10,000	特養の運営費に充当
平成20年12月22日	大阪市民生委員 児童委員連盟西区支部様	法 人	30,000	特養の運営費に充当
平成20年12月22日	㈱幸和ドラッグ様	法 人	200,000	特養の運営費に充当
平成21年 2月10日	住友生命保険相互会社様	法 人	65,000	特養の運営費に充当

コスモスガーデン

平成20年4月28日	鞆楠クラブ様	地 域	5,000	創立記念祭 ケハウス運営費に充当
平成20年9月26日	鞆楠クラブ様	地 域	5,000	敬老祝賀会 ケハウス運営費に充当

寄付物品(平成20年度分：日付順)

コスモス苑

年 月 日	団体名・氏名	関 係	物品名・個数	備 考
平成20年 8月25日	㈱銭高組様	法 人	ビール券×10枚	特養で使用

コスモスガーデン

年 月 日	団体名・氏名	関 係	物品名・個数	備 考
平成20年 4月 21日	関西シティフィルハーモニー様	団 体	コンサートチケット×8枚	ケハウスで使用
平成20年 9月11日	大阪府花道家協会様	団 体	生花展チケット×20枚	ケハウスで使用